



自律と共生



5/14(火) 分散登校開始 「チーム守山」 で考えていくことは・・・

緊急事態宣言が延長となり、様々な活動の自粛、制限、延期、中止は続いています。その中、本日は生徒の皆さんが登校し、元気な表情を見ることができ、本当に嬉しかったです。この後 5/14(木)からは、各学級を2つに分けた分散登校も開始します。詳しくは、別紙文書や緊急メール、ホームページでお知らせいたします。これからの学校再開に向けて、次の3点を考えていきましょう。



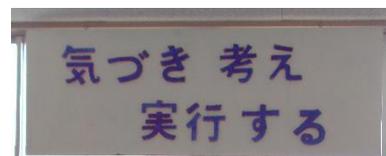
(1) 「ピンチをチャンスに」 変えるため、今は「忍耐」も必要

「心の庭に 忍耐の樹を植えよ その根は苦くとも その実は甘し」 この言葉は、私が高校を卒業する時に、野球部監督の菊池正明先生から硬式球に書いていただいたものです。現在は、感染収束といった先が見えず、苦しく辛い状況です。しかし苦難に負けずに耐え忍び、できることを1つ1つやり遂げて努力を積み重ねれば、必ずその成果は実ります。私は、高校卒業後苦しい時には、厳しかった監督からいただいたこのサインボールを見ながら、気持ちを奮い立たせてきました。自粛等の毎日ですが、今が踏ん張り時です。がまんすべきことはがまんしながら生活していきましょう。



(2) 「ピンチをチャンスに」 変えるため、「気づき・考え・実行する」

「忍耐」が大切といっても、全てをがまんするわけではありません。3密を避けながら、状況に気づいて何ができるかを考え、判断し、工夫して実行することも求められています。守山中の3階西廊下に掲示してあるメッセージの通りです。学習、趣味や特技、読書、ゲームやテレビ、トレーニング、家の手伝い等、いろいろなことに取り組むことができます。自分なりに「気づき、考え、実行する」を意識しながら、この緊急事態の毎日を有意義に過ごしてほしいと願います。



(3) 「ピンチをチャンスに」 変えるため、「心のゆとり」も大切

新型コロナウイルス感染が拡大する、不安や恐れから数々のデマが流れ、不当な差別や非難も生じているというニュースを見聞します。伝わる情報を正しく選択、判断、活用できる力が必要です。情報を正しく読み取らなければならないのです。そのためにも、私は読書をおすすめします。先日のホームページにも掲載しましたが、詳しくは裏面文書をお読み下さい。



そして、「心にゆとりを持つこと」も必要です。不安だらけでイライラしたり、落ち着かなかったりでは、正しく物事を考えることができません。現在、福島民報と福島民友に「コロナを乗り切る 心をたもつヒント」が連載されています。様々な分野の専門家や有名人の方々が心にゆとりを持つヒントを紹介してくれています。福島市出身のタレントのなすびさんは、テレビ番組で閉じこもって生活した経験から、「日記を書くこと」を勧めています。ぜひ、全ての文章を読んでみて、自分に合ったできることを見つけて実行して下さい。皆さんの心の不安が少なくなり、ゆとりが持てることを願っています。佐久間



守山中学校の生徒の皆さんへ

皆さん、こんにちは。臨時休業も10日目となりました。いかがお過ごしですか？臨時休業が延長となり、学校再開がまた後になってしまいました。元気な皆さんに会えると思っていたので、本当に残念です。この件についてのご連絡は、後から緊急メールとホームページにてお知らせいたします。

さて、私は最近、読んで勉強になった本があります。何の本だと思いますか？夏井いつき先生の「2択で学ぶ 赤ペン俳句教室」です。テレビのプレバトでの俳句が2つ並んでいて、「才能アリ」はどちらか選ぶのです。私は、理由も合わせて真剣に考えます。でも、なかなか当たりません。その後、夏井先生の解説を読むと、心がスッキリするほど納得します。夜、家で読んでいると自分もスタジオでプレバトに参加している気にさえ、なってきます。



これが、読書の醍醐味です。テレビや動画では、どんどん番組が進行していくので、じっくり考えられません。すぐに答えがわかりますし、出演者の反応も気になってしまいます。しかし、本は誰にも邪魔されず、落ち着いて自分のペースで読み、考えることができます。そこで、私は読書の素晴らしさについて考えました。5つあると思います。

1 疑似体験ができる

実際には体験できないことも、本を通してすることができます。先ほどのプレバトも同様です。小説の登場人物を通して、疑似体験できます。



2 知識や語彙力が増える

本からの様々な情報を得て、知識や語彙力が増えていきます。視覚で覚えるよりも考えて覚えるので、頭にしっかりと残りやすいです。また、人とコミュニケーションをとるときかけが作りやすくなります。

3 発想力が豊かになる

本を読んでいくうちに、自分で想像できないことと出会い、イメージが広がり考えるようになります。そこから、新しい発想が生まれることもあります。

4 視野が広がる

本が自分と違うことに気付き、自分なりの考えを持つと同時に幅が広がります。

5 落ち着いた個人の環境ができる

部屋に限らず、電車やバスの中、待ち時間等いつでも、どこでも、迷惑をかけずに行うことができます。気分転換にもってこいの活動です。

読書には、このような5つの効果があります。

この臨時休業を利用して、よく本を読む人も今まであまり読まなかった人も、時間を生かして、お気に入りや興味がある本でいいので、ぜひ積極的に読書に取り組んでみましょう。毎日、少しでも読み続けて、読書の習慣を身に付けられるといいですね。私も、読書習慣を身に付けたいと思います。そして、今日は木曜日、プレバトを見ます（笑）。

「チーム守山」で読書活動を盛り上げていきましょう。

郡山市立守山中学校長 佐久間 一晃

